

## 管理ページ (個人)

個人メッセージ

戻る  
進む

ID	e001
名前	高野マコト
フリガナ	タカノ マコト
パスワード	*****
メールアドレス	ta@e-medication.jp
現在地	神戸
ステップ開始日	20041117
ステップ1開始テスト日	20041117 09:00:00 +0900
ステップ1開始テスト結果	17/19/2
ステップ2開始日	20041117
ステップ2開始テスト日	20041119
ステップ2開始テスト結果	14
ステップ3開始日	20041119
ステップ3開始テスト日	20041120
ステップ3開始テスト結果	7
終了日	20041120
ログイン履歴	20041117 14:00:00 +0900 (20041120 20:11:00 +0900) * 20041118 14:00:00 +0900 (20041117 21:00:00 +0900) * 20041118 14:00:00 +0900 (20041118 20:11:00 +0900) * 20041119 14:00:00 +0900 (20041119 20:11:00 +0900) * 20041120 14:00:00 +0900 (20041120 20:11:00 +0900)

送信

## 管理ページ（フォーラムの削除）

The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer browser window displaying the 'e-Medication' website. The address bar shows 'http://www.e-medication.jp/top.html'. The page title is 'e-Medication'. Below the title, there are navigation links: '講座の目的と目的', '受講者HELP', 'オンライン講座 1 | 2 | 3', '確認テスト 1 | 2 | 3', 'アーカイブ', 'フォーラム', and '問い合わせ'. A 'TOP' link is also present.

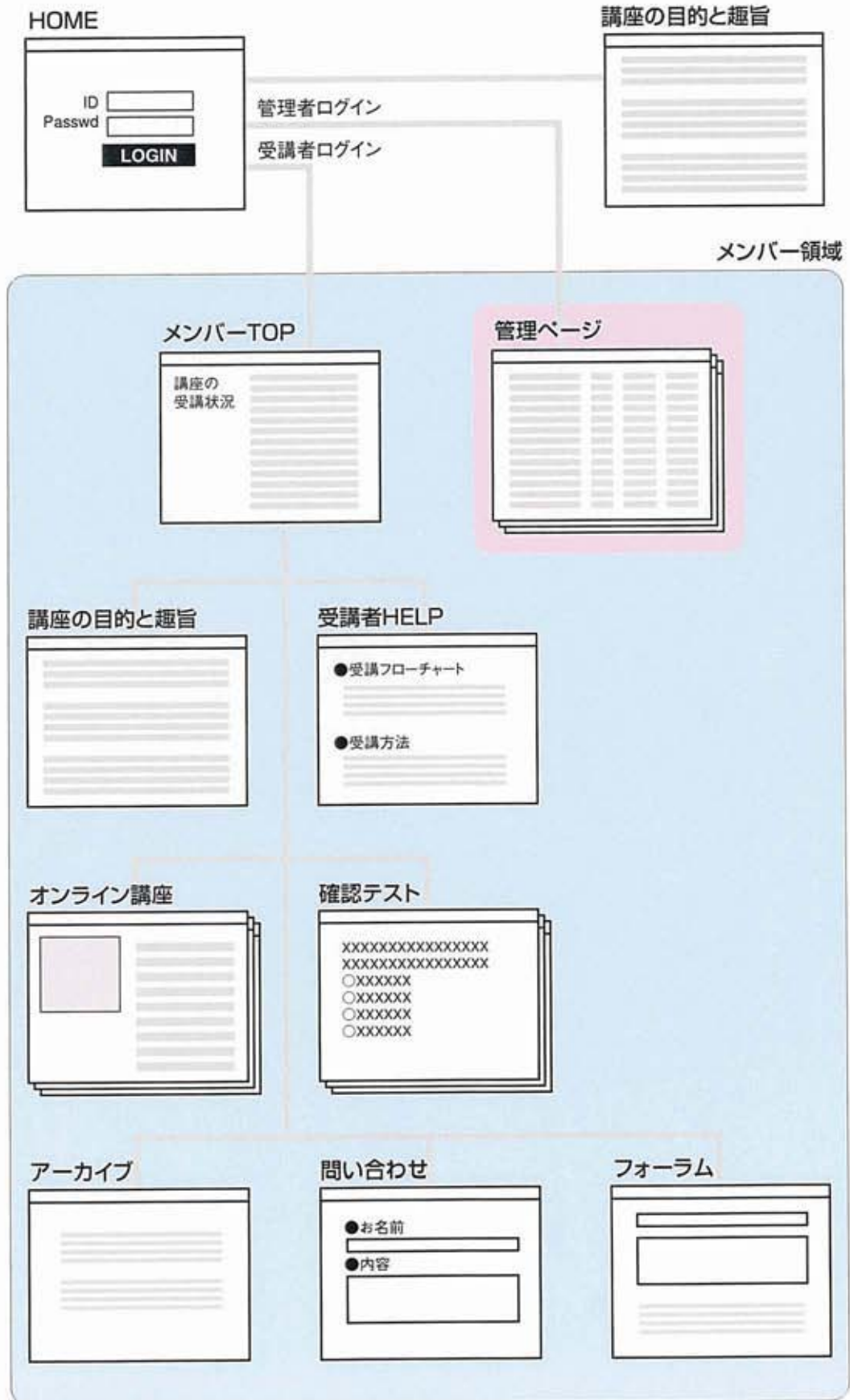
The main content area is titled '管理ページ/フォーラムの削除'. It contains a table with the following data:

削除	No.	ID	ニックネーム	タイトル
<input type="checkbox"/>	0005	evad001	e-Medication 管理人	本館はよくなりましたの巻頭
				長年運営してきた本館をシステムバグで強制終了して……
<input type="checkbox"/>	0004	evad00	あつた	お久しぶり
				皆さん、講座へようこそ、誠にありがとうございます……
<input type="checkbox"/>	0003	evad001	アリス	みんなよろしくお過ごしください
				この度はみなさんの e-Medication 訪問ありがとうございます……
<input type="checkbox"/>	0002	evad00	あつた	本館よりお返事
				返信が遅くて、申し訳ありません。またお返事……
<input type="checkbox"/>	0001	evad00	evad001	お返
				フォーラムのオープンしました。

Below the table, there is a '削除' (Delete) button. At the bottom of the page, there is a status bar that says 'ページが表示されました' and 'インターネット'.

## e-Medication のシステム概要

画面構成図



※本構成図は、サイトにアクセスした時の見かけ上の構成図であり、実際のHTMLファイル構成とは異なります。ほとんどのページはプログラムを介して表示します。

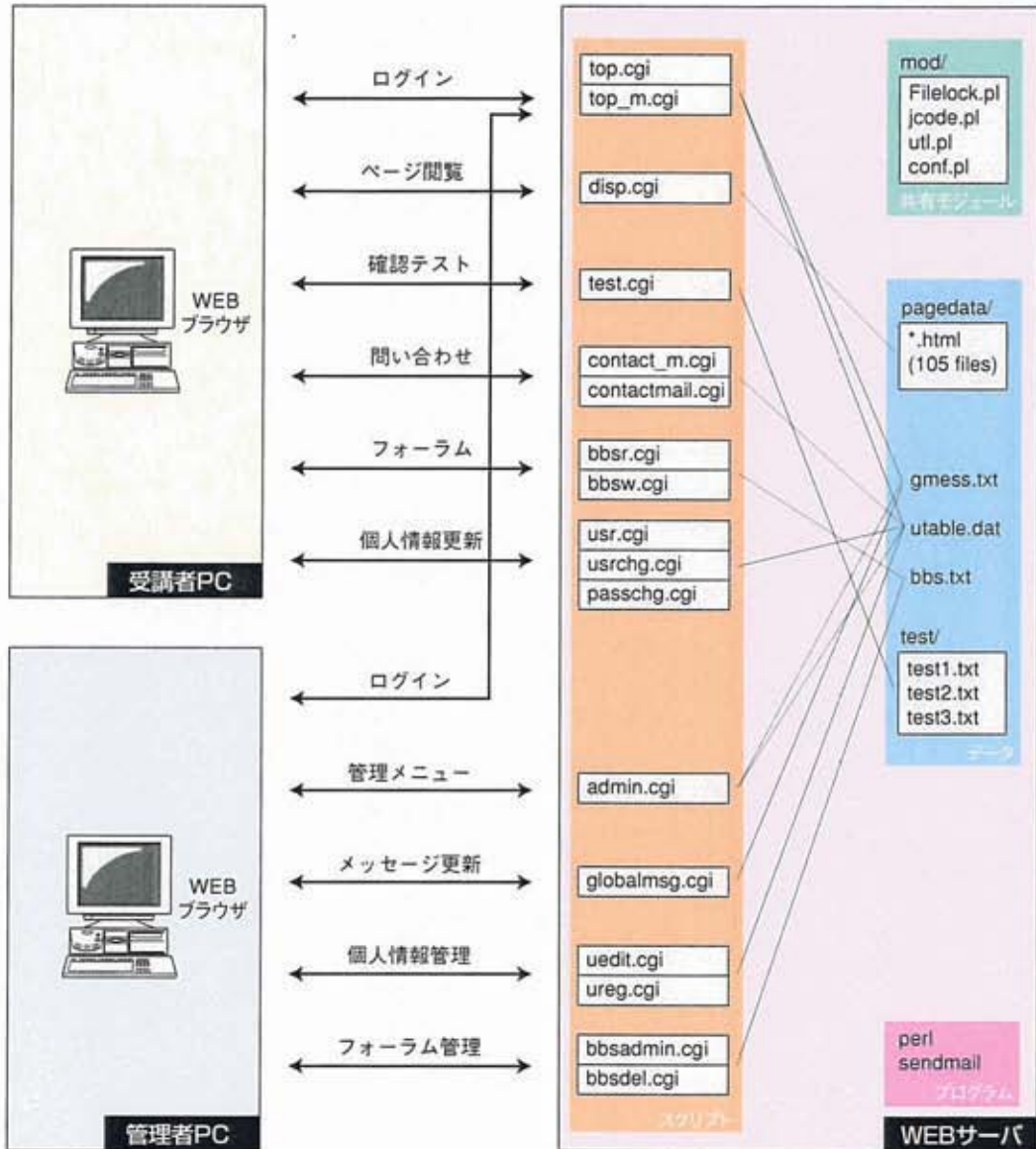
## ファイル構成

ファイル名	パーミッション	説明
cgi-bin/		
— admin.cgi	755	管理
— bbsadmin.cgi	755	BBS管理
— bbsdel.cgi	755	BBS削除
— bbsr.cgi	755	BBS読み出し
— bbsw.cgi	755	BBS書き込み
— contact_m.cgi	755	問い合わせフォーム表示
— contactmail.cgi	755	問い合わせメール
— disp.cgi	755	認証・ページ表示
— globalmsg.cgi	755	受講者向けメッセージ
— passchg.cgi	755	パスワード変更
— test.cgi	755	確認テスト
— top.cgi	755	トップページ表示
— top_m.cgi	755	トップページメニュー表示
— uedit.cgi	755	管理者用受講者情報編集
— ureg.cgi	755	管理者用受講者情報登録
— usr.cgi	755	受講者情報編集
— usrchg.cgi	755	受講者情報登録
— gmess.txt	666	受講者向けメッセージデータ
— utable.dat	666	受講者情報
— bbs.txt	666	BBSデータ
— mod/	755	モジュール等格納ディレクトリ
— Filelock.pl	644	ファイルロックモジュール
— jcode.pl	644	日本語コードモジュール
— utl.pl	644	サブルーチン集
— conf.pl	644	サイト情報定義
— pagedata/	755	HTMLファイル格納ディレクトリ
— (*.html 105ファイル)	644	HTMLファイル
— test/	755	確認テストデータ格納ディレクトリ
— test1.txt	644	1章確認テストデータ
— test2.txt	644	2章確認テストデータ
— test3.txt	644	3章確認テストデータ
— lock/	777	ロックファイル格納ディレクトリ
— (動的に生成・削除)		
— mylog/	777	LOGファイル格納ディレクトリ
— (プログラムが生成)		



## プログラム構造

- プログラムは perl を使用し、WEB サーバ上で CGI として動作する。
- 電子メールの送出には sendmail を使用する。
- 受講者および管理者は、インターネットを介して WEB サーバにアクセスして利用する。



※ mod/ 内の共有モジュールは、全てのスクリプトから参照するため、相関関係は省略。

各モジュールの概要・機能

### utl.pl

ユーザ認証 - クッキーの書き込み、クッキーの読み出し (認証の確認)、メッセージウィンドウの表示 (エラー時等)、ログの書き込み、を行う。全てのスクリプトから認証の確認は行うため、必ず参照する。

### conf.pl

サーバルートの path、LOG ファイル、プログラムの pathなどを定義する。設置する環境によって書き換える必要がある。

### jcode.pl

日本語漢字コード変換ライブラリ (Copyright Kazumasa Utashiro フリーウェア)

### Filelock.pl

ファイルの排他制御モジュール (Copyright TOKYODESIGN Ltd.,Co. フリーウェア)

---

◆検討委員会<敬称略>

委員長 高橋 泰 (国際医療福祉大学 教授)  
委員 中江和実 (トーキョー・デザイン、取締役社長)  
黒田史博 (国際医療福祉大学 大学院)

◆ご協力いただいた方々、団体<敬称略>

スクーリング講師

青柳育子 (群馬松嶺福祉短期大学講師、看護師、社会福祉士)

eラーニング効果分析

重廣 愛 (国際医療福祉大学 大学院)

eラーニングシステム設計助言

特定非営利活動法人 テラスあびこ

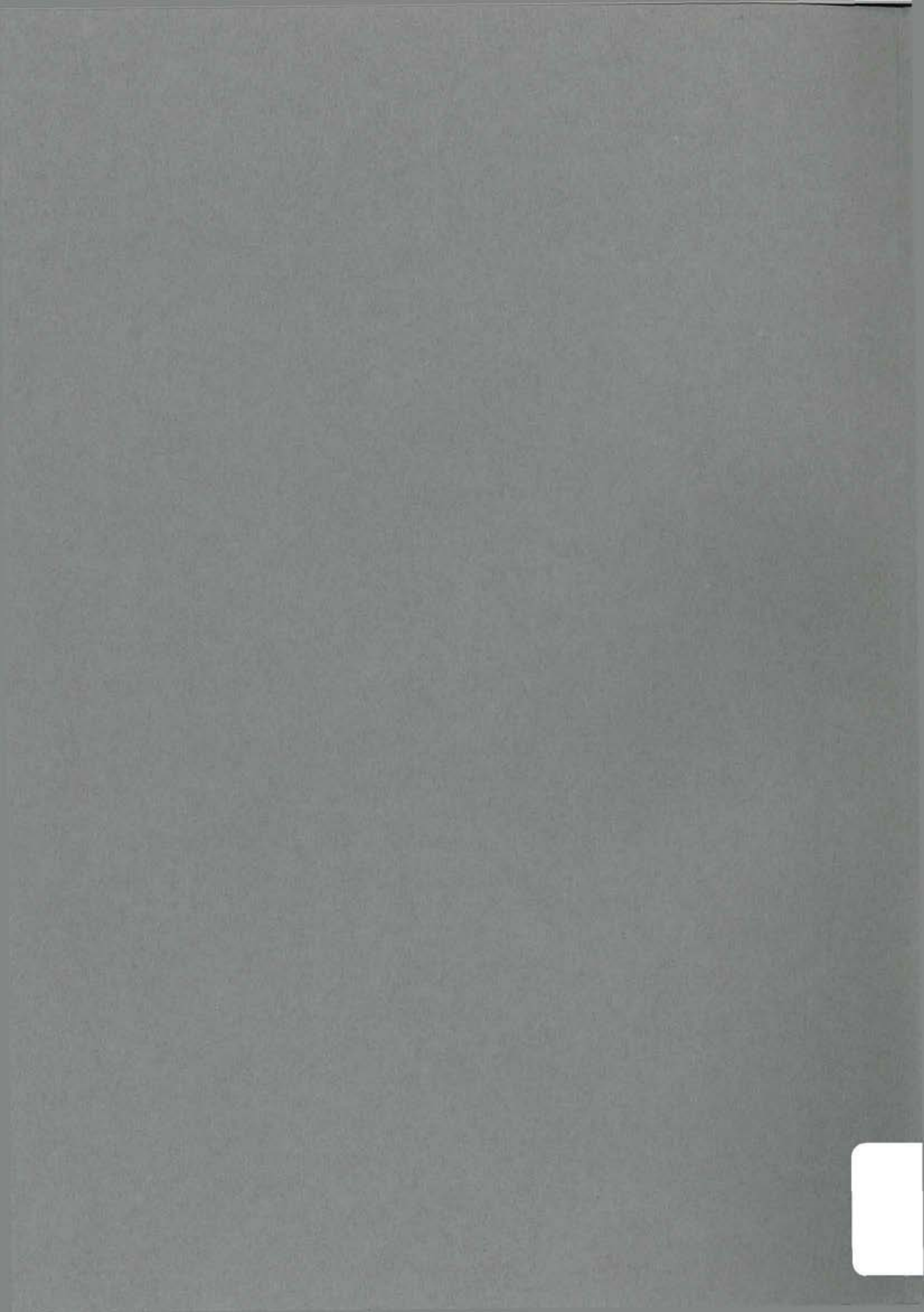
◆NPO人材開発機構 研究スタッフ

水谷正夫 (総括)  
渡邊 毅 (委託研究員)  
高木恭子 (事務局)  
山内美穂 (事務局)

特定非営利活動法人

**NPO人材開発機構**

〒162-0825 新宿区神楽坂2-4 結城ビル4F  
Tel:03-5206-7831 Fax:03-5206-7883





**e-Medication**  
<http://www.e-medication.jp/>

#### これからの開発計画

試験運用の参加者から得られた e-Medication の評価はおおむね良好でした。介護に従事する人々にとって、インターネットを使ったシステムが学習しやすいシステムであることがはっきりしました。また、イラストを使うことも良い評価を得られました。イラストより写真の方が良い、動画のスピードをコントロールしたいなどの要望がありました。今後はこれらを改善し、さらに全体のボリュームを大きくして介護に必要な医療処置や医学知識を網羅するようになっていきたいと考えております。

#### ◆検討委員会<敬称略>

委員長 高橋 泰 (国際医療福祉大学 教授)  
委員 中江和実 (トキヨー・デザイン 取締役社長)  
黒田史博 (国際医療福祉大学 大学院)

#### ◆ご協力いただいた方々団体<敬称略>

スクーリング講師  
青柳育子 (群馬松嶺福祉短期大学講師、看護師、社会福祉士)

eラーニング効果分析  
重廣 愛 (国際医療福祉大学 大学院)

eラーニングシステム設計助言  
特定非営利活動法人 テラスあびこ

#### ◆NPO人材開発機構 研究スタッフ

水谷正夫 (総括)  
渡邊 毅 (委託研究員)  
山内美穂 (事務局)  
高木恭子 (事務局)

#### e-Medication の受講をご希望の方へ

実際にインターネットを使った e-Medication に参加できます。  
詳細はNPO人材開発機構に電子メールでお問い合わせください。  
お申込み受付期間は平成17年10月末までです。

#### ●お問い合わせ・お申込み

特定非営利活動法人  
**NPO人材開発機構**

〒162-0825 新宿区神楽坂2-4 結城ビル4階  
電話：03-5206-7831 Fax：03-5206-7883  
電子メール：info@npo-jinzai.or.jp

# e-Medication

「いつでもどこでも」そして「効率よく」

e-Medicationは介護サービスに携わる方々に医学知識を学んでいただくインターネットを使った学習システムです。  
日頃、“忙しくて勉強したくても時間がない”といったお悩みを持つ介護職の方々に、「いつでもどこでも」そして「効率よく」勉強していただくことを目的にしています。

\* e-Medication (イーメデケーション) は Medicine (医学) と Education (教育) をあわせた造語です。  
\* このシステム開発は、平成16年度独立行政法人福祉医療機構の助成により行いました。



## 介護職（介護福祉士、ヘルパー）と医療行為

いわゆる医療行為は医師や看護師などの資格を持った専門職に実施が認められています。その他の人が医療行為を行うと法に抵触する可能性があります。しかし、一方で、訪問介護やグループ・ホーム等の居宅介護において、介護職の方は、利用者が痛み、発熱、めまい等の症状を訴える場面に遭遇することがあり、医師や看護師が近くにいない状況下で、なんらかの対応を迫られることがあります。よい介護サービスを提供するためには、介護職と医療職（医師、看護師など）が連携して行うことが重要です。その連携を上手に行うためには、介護職にも一定の医学知識の習得が必要です。

## やさしく学べるe-Medication

そもそも医学知識の習得がむずかしいのは…

- 1 使われている用語が難しい
- 2 覚えなければならない知識がとてつもない
- 3 人体や病気の仕組みが複雑で理解が難しい

これらを改善するために、

e-Medication は

- 1 容易に理解できる用語を使う
- 2 介護職と医療職の役割分担を明確にして、介護職が学ぶべき内容、実際に使う知識に限定して提供する
- 3 やさしい言葉とイラストなどを使って、直感的に理解できるようにする

このような工夫のe-Medicationはやさしく、そして効率よく学習できるシステムです。これなら途中で挫折することはありませんね。さあ、あなたも安心して学習に取り組んでください。

### 試験運用参加者の声

- 課題をひとつずつクリアしていき、次の課題へステップアップしていくという方法は、知識を習得しているという実感が得られて良い。通常のテキストと違い、イラストや図が動くので、身体のしくみがよく理解できた。
- 医療の学習をする機会が少ないので、この企画は大変ありがたい。当システムはインターネットを用いているので、自分の都合にあわせて学習できる。又、内容も理解しやすいと感じた。
- 自由な時間に出て来て、自分のペースで進められたことが良かった。医療行為と現場のケアの交わっている所が良くわかった。これからのこのシステムの進化に注目していきたい。

※医学知識は介護職にも必要ですが、介護職が医療行為を実際に行うことはできません。

## 学習の進め方

### ■ e-Medication の概要

e-Medication では下記の項目について、段階を追って学習します。第1章から第3章までの3章からなっています。

	1日あたりの学習時間	標準学習期間
第1章 呼吸器と循環器の医療処置	1日1時間	2-3日程度で終了
第2章 消化器と泌尿器の医療処置	1日1時間	2-3日程度で終了
第3章 薬剤の管理と投与、皮膚の医療処置	1日1時間	2-3日程度で終了

各章の学習には、確認テストがついています。確認テストに合格すると次の章に進むことができます。確認テストは正解率が80%以上で合格です。80%未満の正答率ですと「リピート（再挑戦）」となり、再度、その章の学習をしなければなりません。

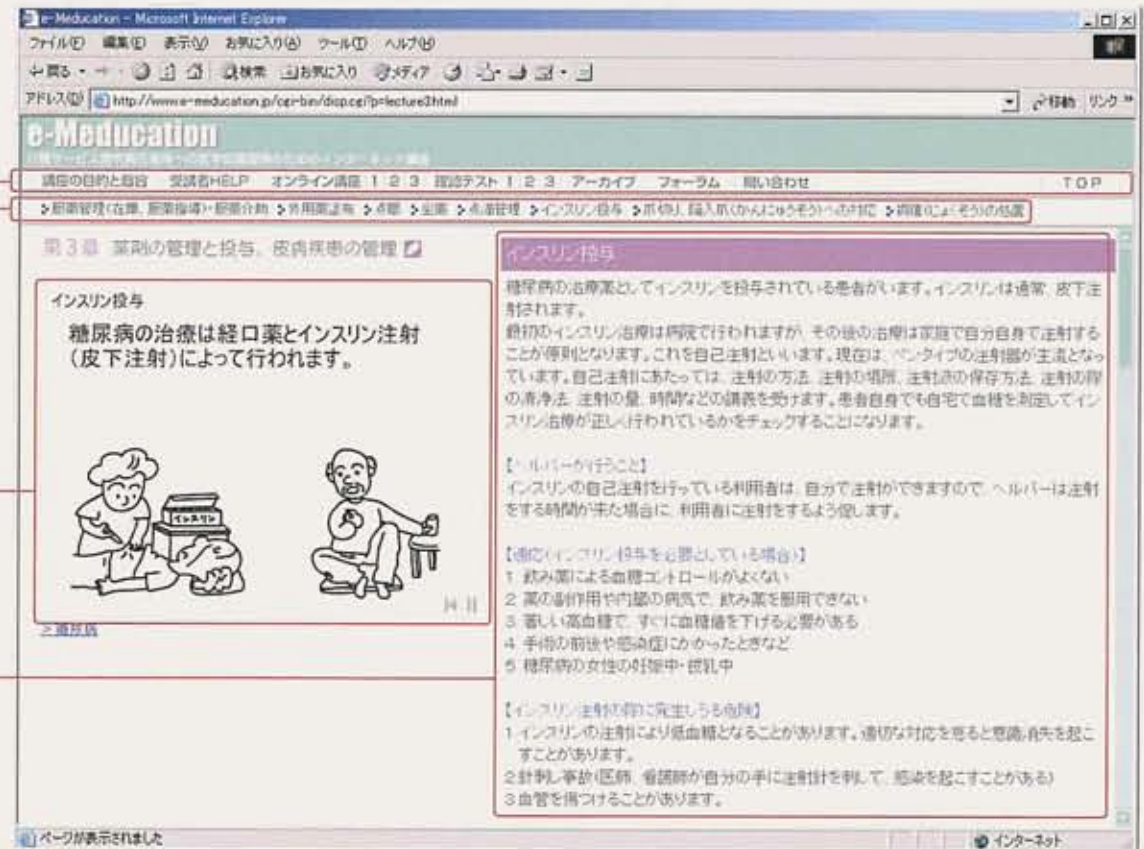
第1章を学習している学習者は、第2章と第3章の教材は見ることができません。

1 各ページへのリンク  
ここをクリックすると各ページに飛びます。

2 各章の項目  
ここをクリックすると、その章の各項目に移ることができます。

3 画像の画面  
ここには、画像がでています。動きのある画像もあります。画像により、右側の解説文の内容が把握しやすくなります。

4 解説文  
わかりやすく医学知識の説明をしています。



## e-Medication を体験することができます

### ■ アクセス方法

インターネットに接続したパソコンから e-Medication のホームページにアクセスしてください。URLは <http://www.e-medication.jp/> です。ホームページから、「はじめての方へ」をクリックし、「e-Medication 体験版」を開いてください。

※体験版は、第1章の一部がご覧になれます。